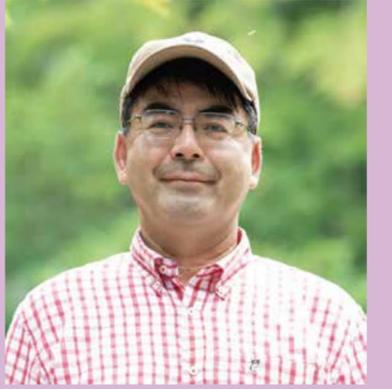


# 土壌や植生の野外調査時のうら話？

## ～ 調査地に向う時のカッコウ や 車での移動時のデキゴト

おもかった  
もうしわけなかった  
あぶなかった  
たいへんだった



自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ 小舘 誓治

私は、森林の土壌と植生の調査を行ってきました。土壌調査には目的によって色々な方法がありますが、基本的な調査として「土壌断面調査」があります。この調査では、横幅約60cm、深さが50-100cm位の土壌断面ができるように林床<sup>りんしょう</sup>に穴を掘ります。そのためのスコップ、手グワ、土壌を採集するための採土器、土壌試料を入れる円筒、土壌の硬さを測定する硬度計(装置)等々を持っています。<sup>※ 森林の地表面</sup>

### ■土壌調査時は、行きはヨイヨイ？ 帰りはオモイ？

現場近くまでは車で移動します。その後様々な道具を詰めたリュックと調査用具を担いで山道を歩きます。その重さは15kg以上、帰りには1地点調査で20kg以上。同じ日に2地点調査をすると採集土壌分の重さが2倍になります。土壌調査の帰りには(下りも多く)荷物の重さで身体のコントロールが利かず、ヨロケたり、コケたりしたこともあります(今は、もうできません)。



▲調査時のカッコウ例 (アルファベットは中の道具を示す)



▲掘るための道具(A)



▲光が当たらないため、埋めるための道具(A)



▲断面調査の道具(B)



▲硬度を測る装置(C)

### ■植生調査時のカッコウ

植生調査の時は土壌調査の時と比べると、比較的軽装なのですが、木の高さを測定する場合は逆目盛<sup>ぎやくめもり</sup>測幹計<sup>そくかんけい</sup>という2m位の長さの棒状のもの(木の高さを10mまで測定可)を持っていきます。山道を歩いていると「釣りですか？」と聞かれたことがあります。申し訳ないのですが「はあゝ」と曖昧な応え方をしてしまったことがあります(ごめんなさい!)

### ■土壌調査のため、車での移動のときのデキゴト

かなり前の話ですが、世間で、地下鉄サリン事件などの重大事件が起きていたある日でした。街中で警察による検問が実施されていました。調査帰りに車を止められてトランクをチェックされたのです。トランクには土壌調査で使うスコップやノコギリ、手グワに加え、一般の方が見ると怪しげな装置などがあります。その後、警察官による免許証のデータの警察署?への照会?や身元確認のために実家への連絡などが始まりました。もちろん博物館職員だということになり無事開放されましたが大変でした。